

チャレンジ工房News

第72号

平成29年3月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

イラスト Aya・keiko

工房の日々

最近の研修風景

嬉しいことに、昨年の暮れより当工房の新たなお仲間4人の所員さんが加ってくれました。

新しい所員さん4名とも障害の種類や程度も違えば、研修の最終的な目標も企業などへの一般就労をすることを目標に、MOSなどの資格取得を目指している人、健康維持のためにリハビリ目的で通所して、パソコンの勉強をされている人と様々です。

私たち、障害を持つスタッフが運営している地活センターだからこそ、様々な障害がある仲間が来て「何1つ、不自由を感じる事がなく通所することができ、個々の目標や希望はもちろん、パソコンの習得度や個々の障害特性に応じたカリキュラムを立てて、充実した工房での日々を過ごしてもらいたい」という思いで、パソコン初心者の方でも分かりやすく大きな活字で書かれているテキストを用意したり、椅子などに厚めのクッションを用意するなどをして、快適に研修に取り組んで貰えるような工夫をしています。

Aさんは、「昔、仕事をしていた頃XPでWordやExcelを使って仕事をしてきたけど、最近パソコンを購入したのだけど、Windowsの画面もWord・Excelの画面も全く変わってしまったから全く使い方が分からなくて…今町内会の役員をしているからどうしてもWordで作らないといけない書類があるからもう一度パソコンを1から勉強し直してみたい」と1月中旬ころより、入所されました。

XPの時代に、お仕事でかなり使いこなされていたようで、テキストに書いていないことであっても「所長、こんなときどうすればいいのですか?」と有り難いことに、いつも探求心を持って、質問して下さいます。

当工房の研修目標の1つにも「障害者が社会で役立つようなパソコン技術を身につける」と明記されていることもあって、是非Aさんには最新のバージョンのWord・Excelの機能などを覚えていって貰い、町内会の書類作りや日々の生活に役立って貰えればと思っています。

失語症の障害をもつBさんは、「パソコンを使って、コミュニケーションの幅を広げたい。できたらパソコンを使った仕事でもやれたら」と就労支援センターからの紹介で今年より入所されてきて、ほぼ毎日のように熱心に通所されています。

私自身も言語障害があって、「正直最初はどやって、Bさんとコミュニケーションを図っていけばいいのか」とかなり戸惑いもありましたが、Bさん自身も私の言葉にもしっかり耳を傾けて下さったり、お互い筆談しあったり、テキストの分からないところを指さし合ったりして、コミュニケーションを取っています。

Bさんは、全くのパソコン初心者なので工房のオリジナルテキストにて、「パソコンの電源の入れ方」「文字入力の方法」など繰り返し学習してもらっています。

入所された頃は、「マウスを使うこと」も「キーボードを使って文字をすること」一つひとつの操作が初めてのことばかりで悪戦苦闘されていましたが、最近キーボードの文字列の配列も少しずつマスターされてこられたようで、初めて自分で入力できたときは、「できた」とかなり嬉しそうに言われていました。

私も毎日のように、Bさんと一緒に研修をさせて頂いていることもあって、嬉しさを分けてもらった感じです。「文字」を入力するだけで音声してくれるソフトもあるので「パソコンの可能性」を信じて、Bさんのペースで少しずつでもマスターしてもらおうことができればと思っています。

3月・4月の日程

3/9(木) 尼うえるフェア
市役所1F ロビー
10:00~15:00

4/3(月) 花見会
水明公園にて
12:00~14:00

※当日は、軽食・飲み物など用意してお待ちしています。

4/29(土)~5/7(日)
ゴールデンウィーク休暇

※上記の9日間、所員・スタッフの心身とのリフレッシュを図るため、ゴールデンウィーク休暇を頂きます。

※休み明けは、5/8(月)から開所します。



スタッフのつばやきを兼ねて

～3月4日大庄おもしろ広場で「うず潮まつり」が行われました～

大庄西中学校跡で、昨年につき、焼きそばやぜんざいなどの食べ物のテントや野菜の販売、ヤギとのふれあいやステージでの演奏などにぎやかに行われました。

パソコン工房チャレンジは東北の障害者の作業所のかりんとうとクッキーを販売しました。お客さんの中には「これおいしいから」「自分も東北に行ったことがあるので、少しでも協力したい」、など3時間の短い販売時間にもかかわらず、たくさん買っていただくことができました。

天候にも恵まれ、多くの人を訪れていました。

所員さんのKさんに荷物の搬入、搬出、また店番もお手伝いいただき、途中、現在は休所しておられますが、以前から工房に来てくださっているOさんも顔を見せに来てくださり、販売を手伝っていただきました。久々に会ったということもあり、皆、話に花を咲かせながら、和気あいあいとした時間を過ごせました。

イベントの度に思うことですが、いつも所員さんのご協力には感謝しております。様々な場面でいたらない私をフォローしてくださっています。

来月から、新年度が始まります。スタッフ一同、所員さんと協力しながら、パソコン工房チャレンジの歩みを進めていきたいと思っております。

(浦部)



街角の風景

写真を1つの趣味にされているSさんは、趣味の撮影会などに行かれた度に「ほら先生、みて今度はこんな写撮れたんよ」と私に話してみせて下さいます。

水泳と同様、色んな写真を撮ることも趣味にしている私にとっての楽しみでもあります。

今回、当紙面を飾るのに「武庫川周辺の街角の写真」を届けてくれました。



阪神電鉄新型、普通車両